

府中校 たまねじトピックス



～授業風景のご紹介～ (生活支援サービス科)

調理実習を行いました



～利用者に合わせて調理～

生活支援サービス科は、生活支援に必要な調理・掃除・洗濯などの家事と介護の基本を3ヶ月で身に付ける科目です。

その中でも調理は特に重要な内容の一つであり、訓練期間の中で10回ほど調理実習を行います。

生活支援のプロを目指すため、「**ただおいしいものを作る**」だけでなく、**利用者の状態やニーズに合わせて作る**という点にも着目しています。



～経験は生徒によりさまざま～

生徒の中には、料理の経験が全くない方もいれば、家事経験が豊富な方もおり、経験の有無は人それぞれです。

しかし、基礎からしっかりと学び、生活支援の仕事につくという**目的は皆同じ**です。**初心者でも全く問題ありません**。

これは職業能力開発センターすべての科目に共通しています。



～担当指導員からひとこと～

限られた時間や食材の中でも、工夫と盛り付け次第で利用者に喜ばれるお食事を作ることができます。また、生徒により経験は様々ですが、重要なのはグループで協力して作業を進めることです。

こうした実習を通し、**他者と協力することの大切さと、利用者に寄り添う姿勢**を学んでいただきたいと思います。



指導の様子



完成品



試食も勉強のうち

生活支援サービス科 山下指導員

